

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	茂木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	もてぎうまいもの市開催事業	総事業費	3,224,150	2,566,592	2,200,000	2,200,000	2,200,000	12,390,742
		うち市町支出額	3,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	11,000,000
		うち県交付金	1,000,000	800,000	800,000	0	0	2,600,000
2	もてぎ里山ウォーク大会開催事業	総事業費	2,771,627	2,621,787	2,700,000	2,500,000	2,500,000	13,093,414
		うち市町支出額	1,350,000	1,350,000	1,350,000	1,000,000	1,000,000	6,050,000
		うち県交付金	675,000	675,000	675,000	0	0	2,025,000
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	5,995,777	5,188,379	4,900,000	4,700,000	4,700,000	25,484,156
		うち市町支出額	4,350,000	3,350,000	3,350,000	3,000,000	3,000,000	17,050,000
		うち県交付金	1,675,000	1,475,000	1,475,000	0	0	4,625,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	もてぎうまいもの市開催事業
事業主体の名称	もてぎうまいもの市実行委員会
代表者の名称	実行委員長 古口 達也
事業主体の所在	321-3531 栃木県芳賀郡茂木町大字茂木141
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 中心市街地活性化を図る事業の検討及び実践すること 設立年月日: 平成24年4月1日 構成員等: 茂木町長、商工会会長、地元行政区長、旅料飲組合加盟店等 事務局含め46名 ※実行委員会事務局は商工会内にあり、うまいもの市の実施に限定した予算管理を行っている
当該事業に係る地域の現状と課題	茂木町では地域資源を活用した地域おこしやコミュニティビジネスが盛んに行われ、特産品を活かした6次産業化にも取り組んでいる。平成28年度の「もてぎうまいもの市」では、春、夏、秋、冬の計4回開催し、秋のうまいもの市では約9,000人が来場し大変な賑わいであった。来場者も年々増加し、中心市街地の活性化や特産品、食メニュー等を通じた町の魅力発信ツールとして確立してきた反面、出展者やイベント内容の固定化など、マンネリ化も否めないのが現状である。年4回開催するうまいもの市をどのように変化させ、季節ごとに飽きさせないイベントを確立するための工夫が課題である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 「食」を通じた市街地の賑わいづくり 本町の地域資源を活かした特産品や食メニューによる町の魅力の発信及び新たな観光客の開拓
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>町の特産品であるそばやゆず、良質な美土里堆肥から育てた新鮮でおいしい野菜を使った自慢の「食」メニューや、趣向をこらした日級グルメを集めた「もてぎうまいもの市」を、四季に合わせて4回計画したが、荒天のため計3回の開催となった。また、定住促進への一助となるよう平成29年4月にオープンした「もてぎ暮らしサポートセンター」やまちなか文化交流館「ふみの森もてぎ」と連携し、茂木の「食」だけでなく「文化」「暮らし」など広PRすることができた。</p> <p>《開催日》</p> <p>①春のうまいもの市 4月9日 荒天により中止</p> <p>②夏のうまいもの市(6月30日16:00~19:00、六斎公園、あさがお・ほおずき市と同時開催) 入込客数1,000人 →マンネリ化の解消と新たな客層の掘り起しを図った。</p> <p>③秋のうまいもの市(11月3日、ふみの森もてぎ及び市街地横町通り) もてぎフェスタと総称し、もてぎ里山ウォーク・ふるさともてぎ秋祭り同時開催 入込客数:うまいもの市10,000人、里山ウォーク1,252人、JAまつり3,500人 計14,752人 →相互協力による幅広いPR活動を行い、イベント間の客の流れを形成し、新たな観光客の確保と相乗効果を図った。</p> <p>④冬のうまいもの市(1月6日、ふみの森もてぎ、新春商工会まつりと同時開催) 入込客数4,000人 《出展者》旅料飲組合、商工会員、コミュニティビジネス団体等 《事業内容》日級グルメイベント、ステージショー、特設遊具、バルーン係留、ふみの森もてぎ内フルーツコンサート、木工木版画展等</p> <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> 各うまいもの市開催時にチラシ5,000枚を配布、メインイベントとなる秋のうまいもの市ではポスター500枚を参加店を始め、真岡鐵道各駅、宇都宮市及び芳賀郡管内、茨城県隣接市町の大型店や道の駅、各官公庁施設に掲示した。 郡内への新聞折り込みやインターネット、SNS、ケーブルテレビを活用すると共に、県内外マスコミ各社へ情報提供し、PRの強化を図った。さらに同時開催イベント参加者にも当日用チラシを作成し配布した。 <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年4回開催し、他のイベントと連携強化を図り、同時開催することで、幅広いPRや新たな観光客の確保を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 安心して定住・交流できる「まち」をつくる</p> <p>数値目標: 観光入込客(H26)2,659,932人/年 →(H31)3,000,000人/年 【H28実績3,073,240人/年】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	もてぎうまいもの市 (年4回)の開催	もてぎうまいもの市 (年4回)の開催	もてぎうまいもの市 (年4回)の開催		もてぎうまいもの市 (年4回)の開催
事業費	3,224,150	2,566,592	2,200,000	7,990,742	2,200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	2,000,000	2,000,000	7,000,000	2,000,000
うち県交付金	1,000,000	800,000	800,000	2,600,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	224,150	566,592	200,000	990,742	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	茂木町企画課企画係
担当者名	佐藤 雅美
電話	0285(63)5619
FAX	0285(63)0459
E-mail	kikaku@town.motegi.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	もてぎ里山ウォーク大会開催事業
事業主体の名称	もてぎ里山ウォーク大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 古口 達也
事業主体の所在	321-3531 栃木県芳賀郡茂木町大字茂木143-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:「もてぎ里山ウォーク大会」を開催し、町内外から多くの参加者に茂木町の豊かな自然の中を歩いてもらうことにより、茂木町の魅力をPRするとともにさらなる地域活性化を図る。 ・設立年月日:平成24年4月16日 ・構成員等:茂木町長、議長、スポーツ推進委員、地域公民館連絡協議会会長、商工会会長、旅料飲組会長等 事務局職員含め36名 ※事務局は商工会内にある
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>茂木町は美しい棚田等を有し、豊かな自然と地域資源に恵まれた地域である。そこで、その素晴らしさを体験できる機会を増やし町の魅力を発信していくため、平成24年度から、観光PRを兼ねた「里山ウォーク」を実施してきた。しかし、町外からの誘客への対応がまだまだ不十分であり、いかにして、町の資源の活性化につながる継続的に観光客を確保していくかが課題となっている。</p> <p>また、茂木町は中山間地域ということもあり、車によるドアtoドアの移動が習慣化されており、町民の運動不足が懸念されている。そのため、いかにして、日常生活における運動習慣を定着させ、健康増進につなげていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光資源の魅力の創出 ・継続的な観光客の確保 ・町民の健康増進
事業概要	<p>【平成29年度開催概要】</p> <p><開催日時・会場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月3日(並松運動公園スタート/ゴール地点) ・募集定員 1,252名(H28比 -41名) ・今年度は参加者の駐車場やおもてなしの質が下がらないよう、定員を1,300名としたところ、当日不参加者が多く出たため、前回より参加者数が減少した。しかし、参加者の満足度は90%以上と高く、イベントとして成功した。 <p><観光(茂木町の魅力)PR></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各コースの給水コーナーで、地域公民館や地域づくり団体による地場産の野菜などを活用した漬物やトン汁等の配布、特産品プレゼント抽選会を実施し、特産品をPRすることができた。 ・観光資源が掲載されたウォーキングマップ等を配布し、大会開催時にコース上で案内等も行うことができた。 <p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまいもの市、JAまつりと同日開催することで、PRの連携を図ることができた。 ・ポスターは、県内だけでなく、茨城県隣接市町の大型店舗などでの掲示や町のホームページ、もてぎマスコットキャラクターのSNSサイトなどでPRの強化を図ることができた。 ・東京ドームで開催予定の「全国ご当地マラソン大会PR活動」イベントに参加し、都内在住者に向けて茂木町の魅力を発信することができた。 ・あいあいテレビや区長文書等を活用し、気軽に参加できる健康増進イベントである旨を町民へ呼びかけ、参加を促すことができた。 <p><検討委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年問題となっていたトイレの設置数を増やし、混雑緩和ができた。 ・道路を横断するコースが多かったが、警備員を置くことで安全に実施できた。 ・定員を設けることによって、質の良いイベントにすることができた。 ・里山の秋を楽しんで体感できるコース設定ができ、リピーターが増加傾向にある。 <p>【平成31年度開催概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の効果を検証し、移住につなげるための効果的なPR方法を検討していく。 ・同時開催のうまいもの市と連携を強化し、さらなる客の往来が生まれる仕組みづくりを検討する。 ・町民にウォーキングの習慣が身につくよう、イベントで使用したウォーキングコースをPRする。
事業に係る市町総合戦略の目標及び KPI	<p>基本目標:安心して定住・交流できる「まち」をつくる 数値目標:観光入込客数 (H26)2,659,932人/年→(H31)3,000,000人/年 【H28実績3,073,240人/年】</p> <p>基本目標:安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる 数値目標:健康寿命の延伸(平均寿命) (H22)82.35歳→(H31)83.0歳</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度	29年度	30年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	もてぎ里山ウォーク大会の開催	もてぎ里山ウォーク大会の開催	もてぎ里山ウォーク大会の開催		もてぎ里山ウォーク大会の開催
事業費	2,771,627	2,621,787	2,700,000	8,093,414	2,500,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,350,000	1,350,000	1,350,000	4,050,000	1,000,000
うち県交付金	675,000	675,000	675,000	2,025,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,421,627	1,271,787	1,350,000	4,043,414	1,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	茂木町企画課企画係
担当者名	佐藤 雅美
電話	0285(63)5619
FAX	0285(63)0459
E-mail	kikaku@town.motegi.tochigi.jp